

スリランカ投資庁 (BOI)

スリランカ——投資の目的地として

スリランカ投資庁 (BOI: Board of Investment of Sri Lanka) は、2010年4月から海外投融資情報財団 (JOI) の特別会員となりました。

スリランカは、1977年に貿易と投資を自由化した南アジア最初の国となりました。それ以来、各内閣は経済改革を続けています。

スリランカは、中東と極東の間の最も戦略的な貿易地であり、コロンボ港は南アジアで効率性の高い港として、世界的によく知られています。現在、同港の貨物取扱量は年間400万TEUの貨物と、全世界で27位となっています。

インド、パキスタンと自由貿易協定 (FTA) を締結するスリランカでは、国内で設立され、上記国へと物品を輸出する会社は関税面で優遇されます。アジア大陸内の大規模市場に参入しやすいだけでなく、欧州連合と結ばれた優先的な貿易協定 (GSPプラス) によって、欧州市場への参入も有利です。

識字率が93%であり、英語でビジネスが行えるなど、スリランカの労働力は国の最も素晴らしい資産だと考えられています。スリランカ人は革新性、精密加工における器用さ、および勤勉さでよく知られています。スリランカのさまざまな資源とコスト競争力が技術やシステムと結びつくことで、内外の製造業やサービス産業は相互に恩恵を享受できるでしょう。

知的財産保護、仲裁による紛争解決や会社法などイギリス法に基づくフレームワークも、スリランカにおける投資活動の魅力といえるでしょう。外国人投資家による株式の100%保有は、ほとんどの業種で許容されています。利益および配当の本国への送金についての制限は全くありません。

スリランカ政府はPPP (Public Private Partnership) モデルを重視し、プライベート・セクターは通信、エネルギーや輸送などのインフラ・プロジェクトにおいて重要な役割を果たしています。高級品を扱うアパレル産業はさまざまな投資機会を提供しています。世界的に有名なビーチと観光地があるスリランカ北部と東部の開発は高度成長セクターとしてみられています。農業関係、IT、通信、ビジネス・プロセスのアウトソーシング、付加価値のある製造業 (電子部品、ゴム製品、宝石類など) への投資も有望です。

スリランカ政府は常にビジネスを促進し、プライベート・セクターからの投資を重視した経済の自由化政策を取り入れています。投資家に好適な法制度、インセンティブ制度があるスリランカへの投資をご検討の皆様を、スリランカ投資庁 (BOI) はサポートします。皆さまからのお問い合わせをお待ちしておりますので、お気軽にご連絡ください。

お問い合わせは、Dhammika Basnayake (スリランカ投資庁 (BOI) Investor Relation Officer/Desk Officer for Japan Promotion Department、TEL: +94 11 2427338、E-mail: dhammikab@boi.lk、Webサイト: www.investsrilanka.com) まで。

